

農家等の状況

市	総農家戸数(戸)	農家の内訳(戸)		総経営耕地面積(ha)	経営耕地の内訳(ha)			耕作放棄地(ha)
		販売農家	自給的農家		田	畑	樹園地	
筑西市	3,315	2,159	1,156	8,223	6,161	1,910	152	459
桜川市	1,872	1,109	763	3,478	2,334	1,111	32	575
下妻市	1,495	965	530	2,940	2,243	576	120	352
合計	6,682	4,233	2,449	14,641	10,738	3,597	304	1,386

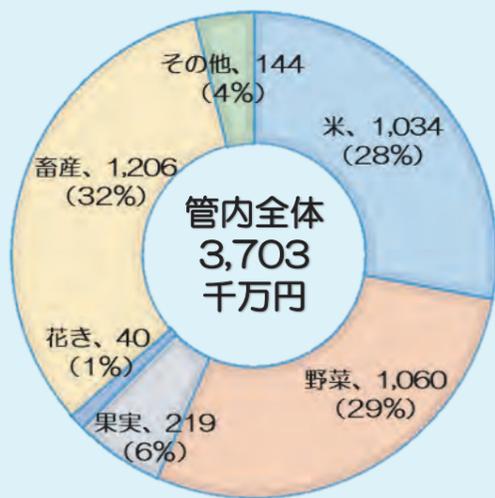
出典 2020農林業センサス  
耕作放棄地は、2015農林業センサス

作付面積

市	普通作				野菜						果樹	花き類
	水稻	麦類	大豆	そば	スイカ	トマト	ネギ	レタス	キュウリ	イチゴ	ナシ	
筑西市	4,650	2,001	1,160	656	76	90	54	30	41	21	144	21
桜川市	1,690	961	402	505	33	39	X	7	5	X	X	X
下妻市	1,680	630	134	231	26	...	19	23	4	1	117	1
合計	8,020	3,592	1,696	1,392	135	129	73	60	50	22	261	22

出典 農林水産省令和3年産作況調査  
ただし、野菜については令和2年産作況調査

農業産出額



出典 令和2年産市町村別農業産出額(推計)

管内略図



普及センターって  
こんなところ

What is Fukyu?

農作物の  
栽培技術  
指導

経営改善  
指導

担い手の育成  
(就農相談)

筑西地域農業改良普及センターの紹介



## 管内の概要

### ○ 自然条件

- 茨城県の西部に位置し、筑西市、桜川市、下妻市の3市が管内です。
- 東京から70km圏内にあり、比較的温暖な気候を活かした首都圏の農産物の供給基地として重要な役割を担っています。
- 東に筑波山、中央部に小貝川、西に鬼怒川が流れ、両河川の流域には平坦で肥沃な水田地帯が広っており、その間は畑作地帯となっています。

### ○ 農業の動向

- 総農家戸数は6,682戸、うち販売農家4,233戸、自給的農家2,449戸となっています。総経営耕地面積は14,641haで、田73%、畑25%、樹園地2%です。
- 水田は基盤整備が進んでおり、数多く存在する大規模経営体により水稻、麦、大豆、ソバなどが作付されています。水稻は「コシヒカリ」を主体に、業務用米や飼料用の品種も作付されており、一部では輸出用米や有機栽培米も生産されています。
- 野菜は、施設栽培で全国トップクラスの生産量を誇るこだまスイカをはじめ、キュウリや抑制トマト、イチゴなどが作付されています。露地栽培ではネギ、タマネギ、ハクサイ等が中心ですが、県では令和元年度から国内外で需要が拡大しているかんしょの生産拡大に注力し、当地域でも年々かんしょ生産に取り組む生産者が増加しています。
- 果樹では、梨の大産地で、複数の選果場を有し、共同選果、共同販売体制が整備され、京浜市場を中心に出荷するとともに、東南アジア等への輸出も行われています。最近では、大玉で甘い県オリジナルの新品種の梨「恵水」の作付け拡大や、早期成園化を図れるジョイント栽培にも積極的に取り組んでいます。
- 花きでは、県内有数の小ギク産地である他、企業的な鉢物経営体が点在しています。

## 普及活動

### ○ 普通作

普通作経営における所得向上に向け、他地域に先駆けて、高温耐性と耐倒伏性に優れた水稻「にじのきらめき」や、食味の良さや機能性成分に特徴のある糯性の二条裸麦「キラリモチ」の導入に取り組むとともに、スマート農業、省力化技術、雇用労働力に係る指導等に取り組んでいます。



「にじのきらめき」栽培指導



カラスムギ防除対策試験の状況を説明する様子

### ○ 花き



小ギク経営体の所得向上を目指し、中核経営体の規模拡大、物日出荷に対応できる県育成品種による有利販売、収穫量の増加や品質向上のための技術支援を行うとともに、こうした取組を通じた新規栽培者の確保育成に取り組んでいます。



JA担当者和小ギクの品質を確認する様子

### ○ 果樹



ロボット草刈機の現地検討会



青年部向け剪定講習会

産地の維持発展及び梨経営体の所得向上に向け、県オリジナルの新品種の梨「恵水」の生産支援、東南アジア等への輸出に向けた防除指導等を行っています。また、ジョイント仕立てによる省力・簡易化技術や常時雇用など、大規模果樹経営モデルを提示し、意欲ある経営体を育成しながら、出荷量のある強い産地づくりを進めています。

### ○ 野菜

当地域では、こだまスイカ、キュウリ、夏秋トマト、イチゴが主力品目であり、この4品目を中心に産地の発展や意欲ある経営体の所得向上に向け、省力化が期待されるスマート農業導入の推進に取り組んでいます。また、消費地に近い利点を生かすため、こだまスイカアイスを活用してアンテナショップで販売するなどの6次化によるPR活動に取り組んでいます。



キュウリの生育状況確認



こだまスイカの生育診断



### ○ 担い手

経営感覚に優れた意欲的な担い手を確保・育成するため、意欲ある農業経営体の課題解決に向けた経営体育成支援活動を展開しています。

市・JA・農業大学校・農業高校や地域農業のリーダーである農業三士（農業経営士・女性農業士・青年農業士）と連携を図りながら、新規就農者の確保・育成を支援しています。また、新規就農者を対象とし、農業の基礎的技術や仲間づくりを進める農業学園や、後継者クラブのプロジェクト活動支援、若手女性農業者の確保・育成を目的とした農業女子会等を開催し、交流の促進、知識習得を支援しています。



プロジェクト活動支援の様子



農業女子会開催の様子

